

日本生殖看護学会 ニュースレター

No.
70

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目 次

・第23回日本生殖看護学会学術集会のご案内	1
・不妊症看護認定看護師 リレー寄稿No.27	2
・これから行われる学術集会・研修会情報(2025年4月～2025年6月)	3
・2025年度生殖看護地区実践セミナー助成のお知らせ	4
・実践開発委員会からのお知らせ	5
・理事会報告	6
・事務局からのお知らせ	7
・会員数MAP	7
・原稿を募集しています!	7
・編集後記	7

第23回日本生殖看護学会学術集会のご案内

第23回日本生殖看護学会学術集会

大会長 阿部正子 (名桜大学)

この度、第23回日本生殖看護学会学術集会を、日本IVF学会との併催にて開催する運びとなりました。本学術集会では、「未来をつなぐインターコンセプションケア～生殖看護の新たなアプローチ～」をテーマに掲げ、現代社会が直面する生殖や家族形成に関わる課題について、多角的な視点から議論を深める場としたいと考えております。

晩婚化・晩産化の進行や少子化といった社会的背景の中、妊娠と妊娠の間に女性とその家族を包括的に支える「インターコンセプションケア」は、次世代への健やかな命をつなぐ重要な役割を果たします。このケアは、産後ケアとプレコンセプションケアをつなぐ連続した支援として、女性の心身の健康を最適化し、そのライフコース全体を見据えたアプローチを可能にします。

不妊治療に携わる看護職の皆様にとって、「インターコンセプションケア」は一見、自分たちの業務範囲から遠い概念に感じられるかもしれませんが、しかし、不妊治療という「家族を持ちたい」と願うクライアントの人生に深く関わる立場だからこそ、妊娠後やその先の未来までを見据えた支援ができる可能性があります。今回の学術集会では、これまでの実践と「インターコンセプションケア」を結びつけ、生殖看護の新たな視点を共に探る場としたいと考えています。

また、日本IVF学会との併催により、医師、看護職、コメディカルといった多職種が一堂に会し、それぞれの視点から意見交換ができる貴重な機会となります。特に、10月12日(日)午後には日本IVF学会との併催プログラムを実施し、生殖医療と看護の連携強化を目指した議論を行います。続く10月13日(月・祝日)午前には、日本生殖看護学会の単独開催として、生殖看護の専門性に焦点を当てたセッションを予定しております。両日を通じて、日々の実践に役立つ知見や新たな視点を得られることを期待しています。

開催場所は、沖縄県那覇市のホテルコレクティブ那覇です。沖縄の豊かな自然と文化に囲まれた環境の中で、学びと交流を深める有意義な時間を過ごしていただければ幸いです。

皆様の積極的なご参加と活発な議論を心よりお待ちしております。本学術集会が、生殖医療と看護の未来とともに考える実り多い場となることを願っております。

不妊症看護認定看護師 リレー寄稿 No.27

「これって伸びしろ？」

横浜市立大学附属市民総合医療センター 星るり子

聖路加6期生の星です。いつの間にか同じ職業に就いて40年経ってしまいましたが、最近感じたことをお話をさせていただきます。

ここ数年、看護学部の学生さんに生殖看護について講義をさせていただいています。コロナ禍では慣れないリモートで冷や汗をかき、画面の向こうの学生さん達は起きているのか寝ているのかわからず不安でしたが、チャットでたくさんの質問がきて歓喜。対面講義に変わった時は学生さんの数に圧倒され、質問は全く出なかったのが退屈だったのかなと落胆。しかしその後送られてきた感想文には、「興味深い内容で充実した時間だった。」などと嬉しい言葉が並んでいて感動。その理由として、「自分自身が不妊治療で生まれた経緯がある、友達が化学療法を受けて妊孕性について悩んでいたから。」など身近で生殖医療を経験していることに驚き、時代の移り変わりを実感しました。結婚したら子どもができて当たり前だった時代から選択して生きていく時代へ。時代の変化を感じられるように、錆びないように私の中の当たり前も頑張って変化させてきた自覚はあります。これって伸びしろ？

不妊症看護認定看護師という分野があることや不妊原因は男性にも半分近くあることを知らない学生さんはまだまだいらっしゃいます。ニュースなどで取り上げられている今がチャンス。生殖看護は伸びしろだらけ。認定看護師のみんなで盛り上げていけたらいいですね。バトンは同期の荒木さんへ繋ぎます。



これから行われる学術集会・研修会情報(2025年4月～2025年6月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会HP / 運営事務局
4月	13日(日)	日本不妊カウンセリング学会 第55回不妊カウンセラー・ 体外受精コーディネーター養成 講座	コンgresクエア 日本橋 (東京都中央区)	https://www.jsinf.com/
	27日(日) ～28日(月)	日本生殖医学会学術講演会 (第70回) 国際生殖医学会 2025併催 「Diversity, Sustainability and Resilience in Reproductive Medicine」	東京国際フォーラム (東京都千代田区)	https://www.jsrm2025.jp/ 【運営事務局】 株式会社コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町2 TEL: 03-3263-8698 FAX: 03-3263-8693 E-mail: reg-iffs2025@c-linkage.co.jp
5月	18日(日)	日本不妊カウンセリング学会 学術集会(第24回) 「未来を見据える プレコンセプションケア」	日本教育会館 一ツ橋ホール (東京都千代田区)	https://meeting.letterpress.co.jp/jsinf24/ 【運営事務局】 レタープレス株式会社 広島本社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町 809番地の5 E-mail: jsinf_coordinator@letterpress.co.jp
	23日(金) ～25日(日)	日本産科婦人科学会学術講演会 (第77回) 「不易流行」	岡山コンベンション センター (岡山県岡山市)	https://www.congre.co.jp/jsog2025/ 【運営事務局】 株式会社コングレ内 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-51 Nakanoshima Gross TEL: 06-7653-3188(代) FAX: 06-7635-8170 E-mail: jsog2025@congre.co.jp
	24日(土) ～25日(日)	日本保健医療社会学会大会 (第51回) 「越境をさぐる」	長崎大学 坂本キャンパス2 医歯薬学総合教育 研究棟 (長崎県長崎市)	https://jshms-conference2025.jp/ 【運営事務局】 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1-7-1 長崎大学医学部保健学科内 Email: jshms51ngs@gmail.com
6月	14日(土)	日本母性看護学会学術集会 (第27回) 「未来への挑戦 ～多様性をふまえたハイリスク 妊産婦への新たなアプローチの 模索～」	順天堂大学 浦安キャンパス (千葉県浦安市)	https://square.umin.ac.jp/jsmn27/outline.html 【運営事務局】 株式会社MAコンベンションコンサルティング 〒102-0083 東京都千代田区麴町4-7 麴町パークサイドビル402 TEL: 03-5275-1191 FAX: 03-5275-1192 E-mail: jsmn27@macc.jp
	21日(土) ～22日(日)	日本保健医療行動科学会 学術大会(第39回) 「人生100年時代の保健医療行動 科学」	明海大学 浦安キャンパス (千葉県浦安市)	https://www.jahbs.info/taikai39.html 【学会事務局】 〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-1-22-702 E-mail: info@jahbs.info

2025年度 生殖看護地区実践セミナー助成のお知らせ

2025年度の各地区の実践セミナー助成についてお知らせします。助成申請の有無にかかわらず、セミナー企画の支援も行っています。お気軽にご相談ください。

2025年度 生殖看護地区実践セミナー助成要項

【助成の趣旨】

日本生殖看護学会員による生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、セミナー運営費を助成し、日本生殖看護学会員サービスに寄与し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

会員個人または共同で開催する生殖看護地区実践セミナー企画者を対象とする。

【応募資格】

1. セミナー企画代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同で企画する場合は、代表者以外の共同企画者もセミナー開催時に本学会会員である者。
3. セミナー予算案を日本生殖看護学会員と非会員の参加費に格差をつけ、作成していること。

【助成金】

助成金はセミナーの企画1件につき7万円を限度とし、当該年度の助成は3件までとする。

【助成期間】

2025年4月1日～2026年3月31日までの1年間とする。

【応募方法】

1. 学会所定の生殖看護地区実践セミナー助成申請書に必要事項を記載し、教育推進委員会宛にメールで申請する。メールの件名は「日本生殖看護学会セミナー助成申請」とする。
2. 応募受付期間：2025年3月1日～
2025年12月31日
ただし、セミナー開催の2か月前までに応募する。
3. 申込先：日本生殖看護学会教育推進委員会
担当理事 上澤、崎山
E-mail : sakiyama.takayo@gmail.com

【選考および助成の決定】

教育推進委員会において選考の上、応募から1か月以内に、応募者にメールで通知する。

【助成金の使途】

セミナーの企画・運営に必要な講師料、物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【勉強会の成果の報告】

1. 助成を受けた者は、セミナー終了後、参加人数および成果、収支決算を教育推進委員会にメールで報告する。
2. セミナーの内容および成果は、ニュースレターに掲載する。

…………… 実践開発委員会からのお知らせ ……………

みなさん、こんにちは。理事の小松原千暁です。

今回は実践開発委員会の3つの取り組みをご紹介します。

① オンライン交流会開催

オンライン交流会は2024年5月から学会員の方を限定に過去5回開催し、のべ42名が参加し、今後は3か月毎に開催していきます。この会は、会員同士が看護実践に関する疑問や悩み、困りごと、ジレンマなどを気軽に相談し合う場です。毎回身近なテーマに沿ってスライドでご紹介した後に、4～5人のグループに分かれて話します。知識や情報の共有ができ、もやもやが解消され看護実践が向上することを目指します。参加者は「自分の説明は大丈夫だった?」「自分の看護に自信がなくなって・・・」などの悩みを相談され、みんなでその答えを一緒に考えることもありました。また、「初診患者の対応について勉強になった」「新人教育の指導って難しいから、参考になった」など実践内容を共有することもありました。お話しが苦手な方は画面とマイクをOFFにして、耳だけ参加でも構いませんので、お気軽にご参加ください。

② 各地区実践セミナー開催

生殖看護に携わる看護職の皆様が質の高い看護実践を行えるように、各地域の当委員の幹事が中心となり生殖看護各地区実践セミナーを開催します。今年度からは現地参加だけでなく、オンライン参加ができるハイブリット開催のセミナーもあります。最初は6月22日関西にてテーマ「性機能障害について理解し、看護実践へ繋げよう」をハイブリット開催予定です。是非、お誘いあわせの上でご参加ください。

③ 不妊症看護認定看護師および生殖看護認定看護師のみなさんへのサポート

CNが対象になる相談員や講師の派遣などを行っています。例えば、FineのFine祭りスペシャル相談員や自治体の不妊相談員などをCNメーリングリストにて募集を行い派遣しております。初めての方を優先しておりますので、是非ご応募ください。

CNメーリングにてCNに有益と考えられる研修会や勉強会、募集などの情報配信を行っております。CNメーリングリストへ登録している各自が配信していただいておりますので、積極的にご利用ください。その他、CN活動の中でお困りのことがありましたら、いつでもご連絡ください。

※各詳細は学会ホームページや学会員メール配信等でお知らせいたします。

理事会報告

第1回臨時(書面)理事会

日時：2024年10月17日(木)

場所：書面による

出席者：坂上，上澤，朝澤，小松原，崎山，清水，
西岡，林，野澤，森明，森恵，青柳(敬称略)

【審議事項】

1. 入会審査：4名の入会を承認

5. 看保連2025年度研究助成の公募について：継続審議
6. 学会誌・ニュースレター等の保管方法について：確認
7. 外部団体・会員等から掲載依頼があった場合のホームページへの掲載内容について：会員に有益な情報を基本方針とし、一部継続審議となった
8. 2026年度以降の総会・学術集会開催時期について
9. 入会審査：2名の入会を承認

第1回理事会

日時：2024年11月22日(金)18:00～21:25

方法：Zoom

出席者：朝澤，上澤，小松原，坂上，崎山，清水，
西岡，林，野澤，森明，森恵，青柳

オブザーバー：阿部(敬称略)

【報告事項】

1. 林はるみ理事(学術集会長)より、第22回日本生殖看護学会学術集会開催報告
2. 阿部正子学術集会長より、第23回日本生殖看護学会学術集会進捗報告
3. 教育推進委員会：崎山貴代理事より、ポストコース開催について
4. 広報委員会：朝澤恭子理事より、広報活動計画、ニュースレター発行計画
5. 編集委員会：野澤美江子理事より、J-STAGE申請、学会誌の電子化について
6. 将来検討委員会：林はるみ理事より、研究勉強会に関する報告
7. 実践開発委員会：小松原千暁理事より、相談員派遣、オンライン交流会の報告
8. 健やか親子21推進協議会WG：林はるみ理事より、会議参加報告
9. 総務：青柳優子理事より、業務・役員・会員動向報告

【審議事項】

1. 各委員会の幹事について：承認
2. 日本生殖看護学会誌の査読規定(案)について：継続審議
3. 研究助成公募集要領について：修正後書面理事会で承認を得る
4. オンライン学習支援システム検討ワーキングの活動案について：継続審議

第2回臨時(Web)理事会

日時：2024年12月20日(金)19:00～20:20

場所：web会議；Zoom

出席者：上澤，小松原，坂上，崎山，林，野澤，森明，
青柳

遅刻：清水

欠席者：朝澤，西岡，森恵(敬称略)

【審議事項】

1. 学会誌査読規定について：一部修正後承認された。ホームページ上で周知する
2. 学会誌の掲載論文の扱いについて：「著作物利用手順」は承認、「著作物利用許可申請書」は修正後承認となった
3. 生殖看護実践セミナー企画について
4. 委員会資料等の保管について
5. 看保連2025年度研究助成について
6. その他
 - 1) 会員マイページの変更について：職種欄について一部修正後承認となった

第3回臨時(書面)理事会

日時：2025年2月7日(金)

場所：書面による

出席者：坂上，上澤，朝澤，小松原，崎山，清水，
西岡，林，野澤，森明，森恵，青柳(敬称略)

【審議事項】

1. 機関リポジトリへの論文掲載申請書について：承認
2. 会員マイページ職種欄の変更について：承認

事務局からのお知らせ

1. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、ホームページ、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで、気軽にご連絡ください。
2. 2025年度より、学会の会期が4月1日～3月31日に変更となります。年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
3. 異動・転居された方は必ずホームページのマイページから住所・勤務先・メールアドレスを変更してください。変更が出来ない方は事務局にご連絡ください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌、その他情報をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
4. 会員マイページの職種欄の記載方法を一部変更します。事務局でのシステム修正後に、会員の皆様を確認のご連絡をさせていただきます。その際にはご協力をお願い申し上げます。
5. 会員数325名(2025年2月1日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。また、ホームページ画面から入会申込みができます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

東京工科大学医療保健学部看護学科内

E-mail: jsfnjimu@gmail.com

ホームページ <https://jsfn.org>

会費納入先

ゆうちょ銀行(振替)

口座番号: 00170-2-333413

加入者名: 日本生殖看護学会

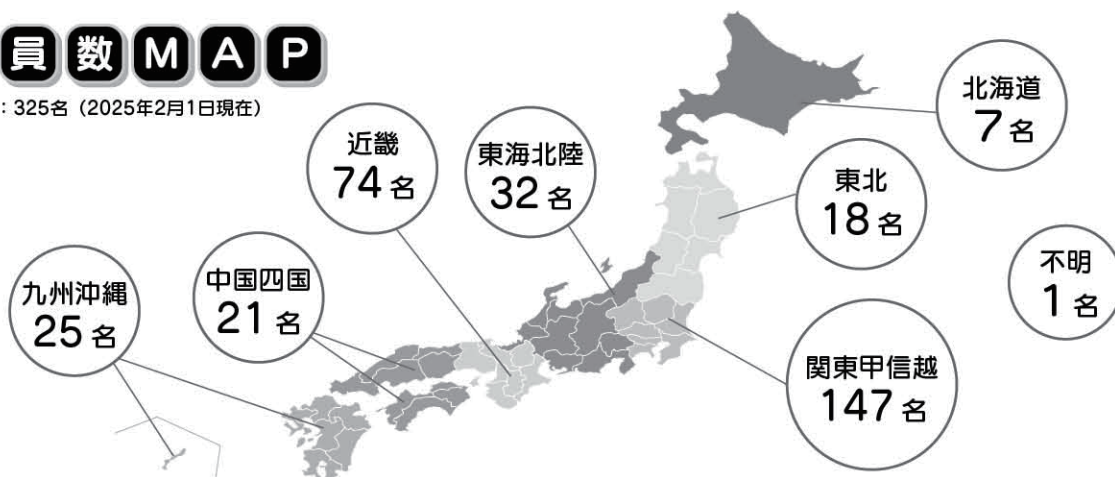
ゆうちょ銀行(振込)

〇一九(ゼロイチキョウ)店(019) 当座0333413

口座名義: 日本生殖看護学会

会員数MAP

会員数: 325名 (2025年2月1日現在)



原稿を募集しています！

ニュースレター71号の原稿締め切りは2025年5月23日(金)を予定しております。
会員の皆様にお知らせしたい情報がございましたら、広報委員西岡(yuka.kawasaki13@gmail.com)もしくは朝澤(k-asazawa@thcu.ac.jp)までご相談ください。

編集後記

ニュースレターの電子化から2号目となりました。学会マイページにログインいただき、いつでも閲覧が可能となっております。電子化移行にご協力いただきありがとうございます。

年度が変わる季節となりました。別れがありまた新しい出会いがあるこの時期は毎年寂しさと期待で胸がいっぱいになります。勉強会や学会で仲間に出会えることを楽しみにしております。

広報委員会 朝澤恭子、西岡有可